
ポーキー

やさぐれ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポーキー

【Zマーク】

Z8259C

【作者名】

やぢぐれ

【あらすじ】

彼氏いない歴17年の愛に初めてのチャンスが。果たして愛の恋は！？！？

昔々、あるところに、日本人形のように可愛いらしい女の子がいました。

「僕、○○ちゃんが好き」「僕も。」

「僕だつて。」

彼女は幼稚園のアイドルでした。

それから12年後……

私、田中愛、17才、高校2年生。誰もが羨むマドンナではなく、年齢"彼氏いない歴17年未だ更新しております。顔は、普通。友達もそこそこ。

そんな私のクラスの位置付けは、ボケキャラ。可愛い天然キャラでは勿論なく、いわゆるアホな子。勿論、かつてのようにもてるわけではなく、未だ彼氏は愚か、男子との接点もうすい、ダメダメっ子なのです。

そんな私にも好きな人がいます。喋ったことは、ほとんど無いけれど、私の斜め前の彼の席。毎日、飽きるほど、背中を見つめています。

そんなある日、彼と放課後の教室で一人つきり。なんとか喋る口実をつくりたい。そんな私の目に映ったのは、ポツキー。

私は、勇気を出して彼に言った。

「よかつたら、ポ、ポーキーいる？？」
痛恨ミス。『ポッキー』を『ポーキー』と言ってしまった。でも、
ここで彼に可憐べジッ子をアピールすれば。
頑張れ、愛。『じゅ。』しかし彼は、サラリとながし、
『『メン。甘いの苦手なんだ。』

「わ、わうなんだ。気にしないで。」

重い沈黙……その時彼が、

「ところでポーキーって、普通間違わないよな。」

今さら……時すでに遅し。

お母さん、私の恋はまだまだ遠いです。

(後書き)

初めまして。やせぐれです。初めての小説で、とてもお見せ出来るものじゃありますんが、よかつたり曰を通じて頂けると光栄です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8259c/>

ポーキー

2011年3月10日05時07分発行